

### <防犯教室…インターネットの危険性！子どもたちの安全を守るために！>

10月下旬には、上田警察署のスクールサポーターの志摩さんがお見えになって、高学年の子どもたちにネットゲームの危険性やルールを決めることの大切さをお話してくださいました。長門小の子どもたちもネットゲームやインターネットを多くの子が使っていました。これからの社会を生きる子どもたちにとって、インターネットは当たり前ツールです。しかし、使い方を間違えると大変危険です。子どもの時代は特に判断力や経験が少なく、様々な依存症やトラブルに巻き込まれてしまいます。

危険①ネット知り合った相手がわかりづらい。

危険②ネットへの書き込み（文字入力）だけで正しく伝えるって難しい。

危険③ネットゲーム依存になると成績下がった！授業中居眠り！遅刻！友達とのトラブル増加！という統計データが出ています。

志摩さんの問いかけに、

Q：ネットゲームに依存していると思う人？…10人ほど手をあげていました！

実際に架空の世界（ネットゲーム）でゲームに夢中になると、そこで発している言葉がとてもひどくなります。

上手にインターネットと付き合うには、

上手①「ルールを決めてきちんと守る」

上手②「ルールを破ったときの約束も作ろう」

上手③「いじめは犯罪です。自分がされていやなことはしない。」

ご承知の通り、大津のいじめ事件により全国でいじめの法律ができました。（いじめ防止対策推進法第4条）犯罪は、警察が動きます。志摩さんの話を参考にしてよりよくインターネットを活用していきましょう。お家の方々の協力とサポートがとても大切になりますので、今後ともよろしくお願ひします。

ネットの中でも仲間はずしなどのいじめが起きています。長門小の子どもたちは、**11月なかよし旬間**として多くの友達と仲良く過ごす心地よさを体験し感じ合っています。**学校教**



育目標にもある“あたたかく”の具現に向けて様々な企画を実施し子どもたちの心を耕しています。なかよしスタンプラリーでは、異学年で校舎内の楽しい企画コーナーを回りスタンプを集めました。

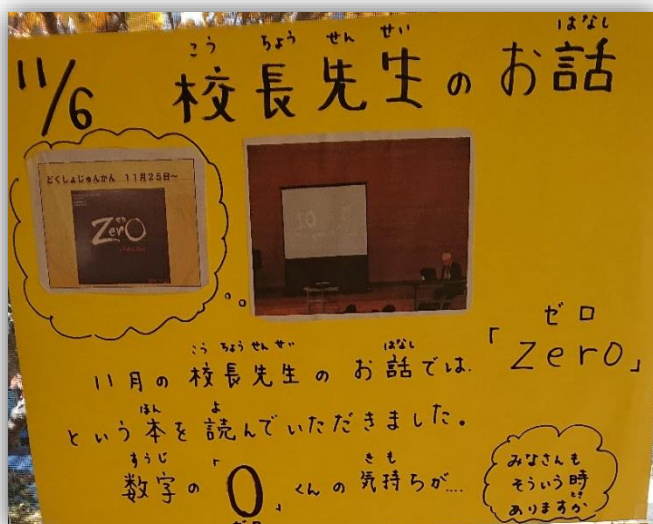
音楽集会では、5年生が全校の前に出てステージから「友達はいいもんだ♪」という素敵な歌を歌ってくれました。歌詞の良さや透明感のある歌声の美しさを全校児童が耳から目から心から感じ合う集会となりました。

校長講話（11月6日）では、「Zero」（ゼロ）という本を全校のみんなに向けて読み聞かせしていただきました。ゼロ君の気持ちになって考える絵本で、ダメな数字



なんてないんだよ、どんな数字でも人間でもみんな違っていい、そんな個性を大事にする絵本でした。

その他に全校児童一人一人が標語を考え、22日には人権教育にかかわった授業を各クラスで展開します（5年は収穫祭）。このように長門小学校では、全校児童と職員が一つになって、様々な関係作りから仲良くなる活動、心に響く学習をおこなっています。また、一人一人の心の中では悩みや相談したいことが出てきたりするのも、自然な子どもの姿であります。この



11月に限らず年間を通じて月に一回はアンケートを実施し、子どもたちの声を少しでも多く聞き取り早期発見・早期対応・早期解決につなげていきます。お家の方々からのご意見やご相談も随時受け付けておりますので、各学級の担任を通して学校に遠慮なくご相談ください。直接、校長、教頭でも構いません。

年に1回の学校評価アンケートのご協力ありがとうございました。今、集計して

おりますので、その結果を12月には発信し、改善すべき内容については、すぐに改善していきます。話し合いが必要な事柄については、PTAの方々や職員で検討を重ねていきます。よりよい長門小学校となるよう、今後ともご協力をお願いいたします。

